静岡県水産技術研究所

富士養鱒場のしおり



当場から見える富士山

富士養鱒場開設の経緯

ニジマスは北アメリカ太平洋岸の河川原産の魚で、わが国には明治 10 年に卵でアメリカより移入されました。大正 15 年に国は水産増養殖奨励規則を公布し、ニジマスの増養殖を奨励しました。静岡県でもニジマス養殖を産業化するため国内で３番目の県営養鱒場として、昭和８年 10 月１日に富士養鱒場を開設しました。

現在、ニジマスの生産量は全国では約 7,319 トンで、そのうち 静岡県の生産量は約 1,881 トンと全国１位の規模です。県内では富士宮市の生産量が最も多く、市町単位でも全国１位を誇っています。



ワシントン水車

富士養鱒場の歴史

昭和８年	富士山麓の湧水群を養鱒に利用するため現在地に建設開始。滋賀県醒井養鱒場より最初のニジマス稚魚が到着。
11 年	飼育関連施設が完成し、竣工式が行われる。ニジマス種苗の供給を開始。
12 年	本館建築。
21 年	戦争により中断した種苗生産の再開。
24 年	貞明皇太后のご来場。
30 年	富士養鱒場観覧料徴収条例の施行。当時は、大人 20 円、子供 10 円。
35 年	昭和 34 年の台風 15 号により被害を受けた孵化場を改築。
38 年	本館改築。
42 年	御殿場分室の設置。
45 年	皇太子殿下、同妃殿下（現天皇皇后両陛下）ご来場。
46 年	採卵期調節施設（電照施設）が完成。
47 年	御殿場分室の廃止。
60 年	アマゴ種苗生産施設の完成。
平成７年	現在の管理棟、研究棟、水槽実験室完成。
８年	生産施設（調餌・孵化棟）、排水処理施設を建設。飼育池を改修。
９年	種苗生産業務を民間移管。
21 年	ニジマスが富士宮市の「市の魚」に制定される。



給餌



飼育池中のアルビノニジマス

富士養鱒場の立地

場　所：富士宮市猪之頭（海抜 713m）

面　積：45,500 ㎡

湧水量：平均 50,000 ㌧/日

池面積：13,000 ㎡（合計 87 面）

水　温：11℃

観覧についてのご注意

1　池は深く、水は冷たいため危険です。特に幼児をお連れの方は気をつけてください。

2　場内の設備、器具及び飼育魚を傷つけないで下さい。破損した場合は条例により損害の賠償を求められることがあります。

3　場内は富士箱根伊豆国立公園の一部です。場内の草木や石を大切にし、持ち出さないでください。

富士養鱒場で飼育中の魚



ニジマス
　北アメリカ原産のサケの仲間で、体に赤い線があるためこの名前がつきました。



ドナルドソンニジマス
　アメリカのドナルドソン博士が作出した成長が良いニジマスの品種で、当場でさらに改良を進めました。



アルビノニジマス
　黒色色素がないニジマスです。昭和31年に当場のニジマスから突然変異で出現しました。



ロングフィンニジマス
　平成15年に普通のニジマスの中から突然変異で生まれました。金魚のようにヒレが長くなるのが特徴です。



アマゴ
　日本固有のサケの仲間で、静岡県以西の太平洋側の河川上流に住みます。別亜種のヤマメとは体に赤い斑点があることで区別できます。



イワナ
　河川の最も上流まで住み、「幻の魚」とも形容されます。体中に白色や橙色の斑点があり、養殖種は白点が多いのが特徴です。



カワマス
　北アメリカ原産のサケの仲間で、釣りや養殖を目的に輸入されました。日光周辺の湖や北海道の一部の河川などに放流されています。

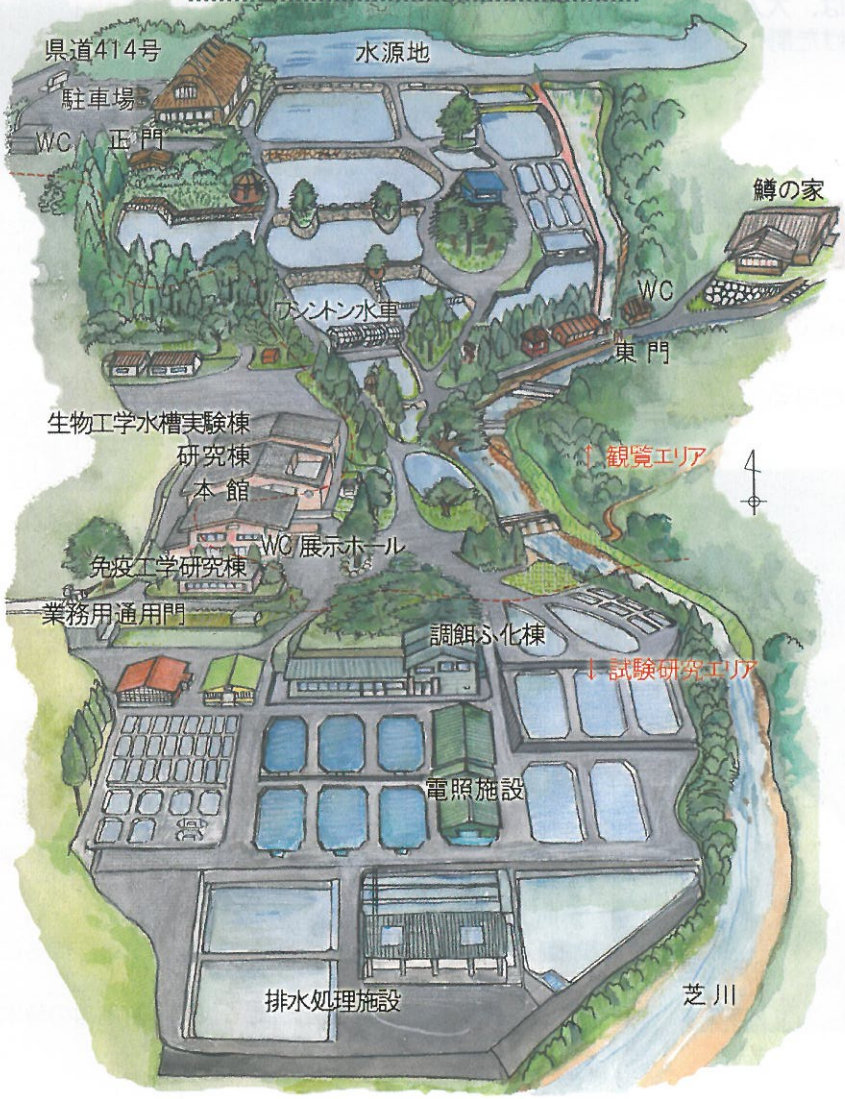


ブラウントラウト
　ヨーロッパ原産のサケの仲間で、体に黒や赤い斑点があります。シューベルトの歌曲「ます」のモデルといわれています。



チョウザメ（ベステル種）
　ロシアや中国東北部などの水の冷たい地域に生息します。卵はキャビアと呼ばれる高級食材です。

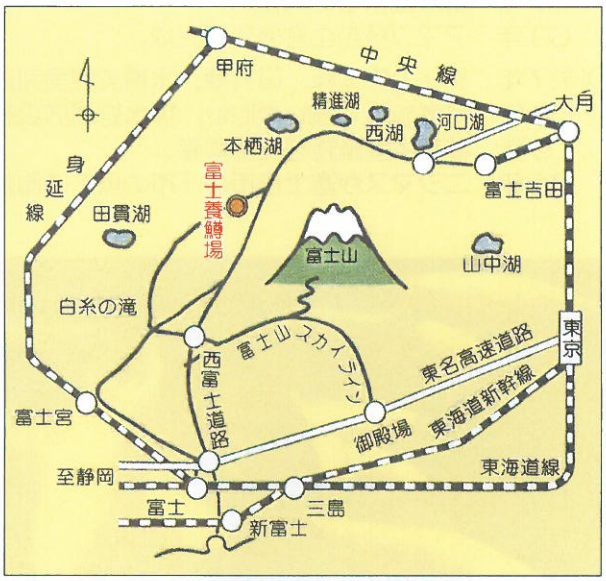
富士養鱒場全景



アクセス方法

・鉄道利用
　JR身延線富士宮駅より
　富士急静岡バス猪の頭方面行き、猪之頭下車

・自動車利用
　東名高速　富士インターより約40分
　中央道　河口湖インターより約40分



〒418-0108　静岡県富士宮市猪之頭579-2

静岡県水産技術研究所　富士養鱒場

TEL　(0544)52-0311

FAX　(0544)52-0312

E-mail fujimasu@shizuokanet.ne.jp

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www6.shizuokanet.ne.jp/fujimasu/

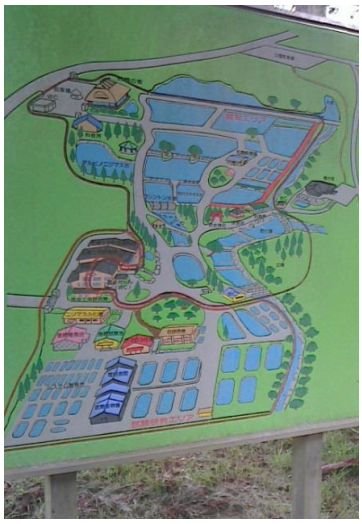
富士養鱒場マスコット
「マスオ君」

（2012.8）

富士養鱒場見学

富士養鱒漁場
平成27年6月5日（金）





富士養鱒場に勉強をしに行ってきました。
敷地は広く芝川の始まりである源流も見てきました。







1年中水温は10℃位
市内の池は約14℃
昭和10年から富士宮市で養殖。

平成12年から卵の供給開始
平成14年から大型魚作出技術

こうして紅富士が出来ました。

のどかで景色が良く
とっても癒される養鱒場です。

↑卵の選別





【ニジマスの餌】
魚粉（イワシ）全体の約6割
小麦粉
魚脂
大豆油かす等



餌をあげたら凄い勢いで
食べる食べる！
食いしん坊のニジマスは大きく成長。
食べ方が遅いニジマスは少し小さ目。
これを更に選別するとか。

↑稚魚の飼育　約半年



池の水は沈殿槽があり、濾過されて川に流されているので
水がとってもキレイでした。
また、オスは病気になりやすく卵をもたないメスだけを作る
技術も行われています。毎週火曜日が卵をしぼっています。

↑選別して飼育　半年かろ1年



手間ひまかけてニジマスは生産されていました。



アルビノマス
中国では縁起が良いと人気。

中国に出荷する為に生産。

池の中ではアルビノハッキリ分かる。

↑照明を使用し2ヶ月毎に産卵させる。秋が来たと思って卵を産むので1年中卵が取れる。